

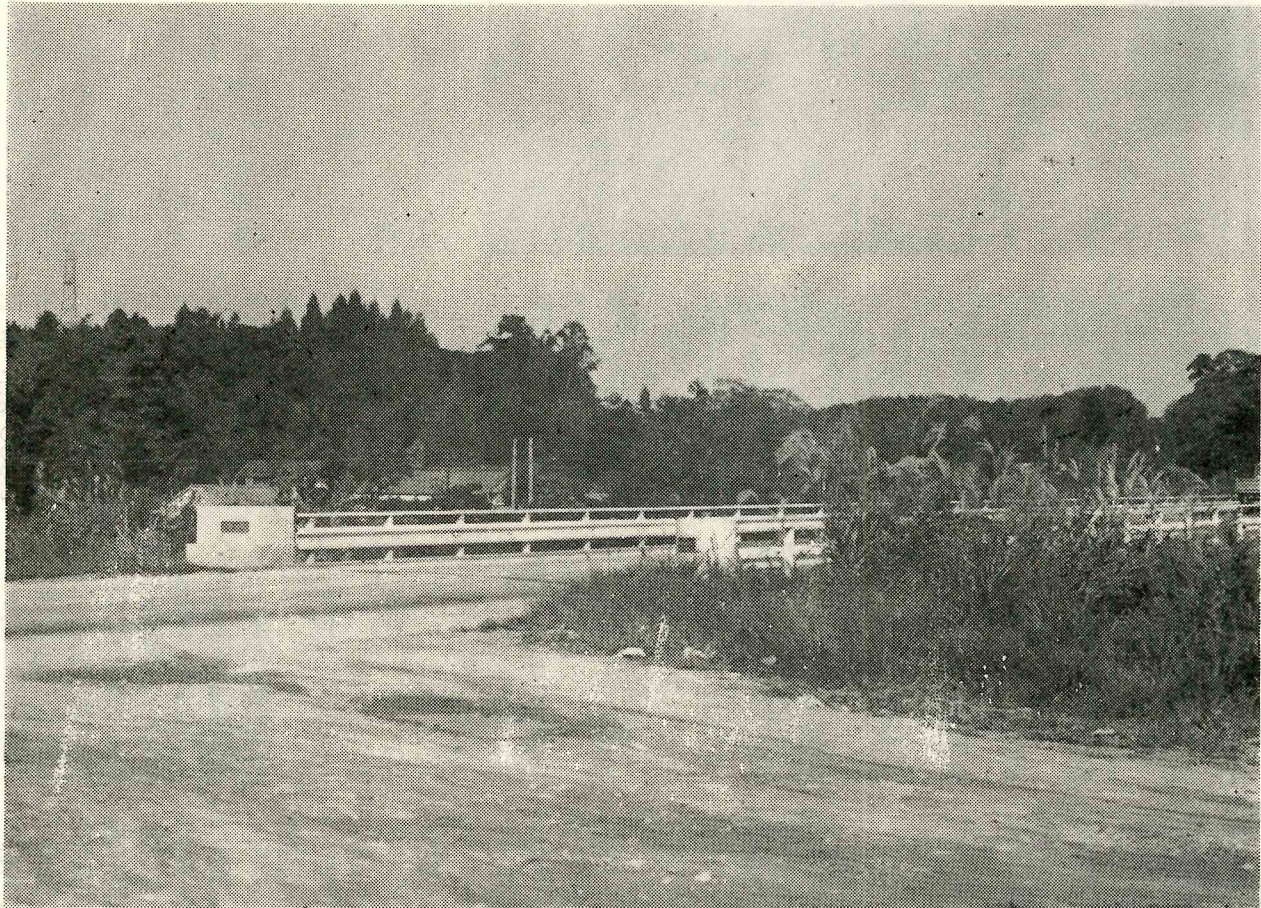


熊館報

町民運動

- ◆あたたかい親の心が子どもを守る
- ◆小さな不注意大事故のもと
- ◆規則守って交通安全
- ◆公共物は自分のものより大切に
- ◆明るい社会は助け合い
暗い社会はしりぞけ合う

発行編集 大熊町公民館
印刷所 平加納活版所



古館の秋

稲東が掛け並び、ススキの穂がゆれる。

音もなく流れ去る水辺のほとり、古館の丘が静かによこたわる。

空も、水も、丘も、人の世の興亡を秘めたまゝ、何も語らない。

流転を偲び佇む空に白雲が浮かび、一直線に伸びる六号国道を車の列が。流れる様に走り去る。

苦麻之村

熊川は上古時代苦麻川と書いた。大和民族の道奥経営には、苦麻之村に柵を置いて阿福隈渡までの開拓を進め、養老三年(七一九)海道上勿来関から逢福隈渡の間に一〇ヶ所の駅を設けたときこの附近に日熊野の駅があったという。

中世紀に海東平氏の一族である標葉氏が請戸大平山に本拠を置いて大熊町から浪江町、小高町浦附近にわたって領有した当時、熊川館には標葉一族の熊川氏、熊館には六旗衆の一人熊氏が居って南方岩城氏に対したという。

明応元年十二月(一四九二)相馬氏が標葉氏を亡ぼしてからは幾度か岩城氏との間に戦斗を繰り返し、一時は熊川館の陣城であった落館、焼館、小館の三館が陥落した事もあるという。

写真正面の台地が熊館、右端青田家背後の低いところが正念寺跡、左に熊館、中館、西館と続き一部を佐山館とも呼んだらしい。||

＝大熊特産〔ナシの撰果場〕＝



9月定例町議会終る

44年度決算、45年度補正予算など議決

九月定例町議会は九月二十八日開会、五日間の会期を以って全議案を可決して十月二日に閉会した。

主なる議案等次の通り。

◇大熊町表彰条例の一部を改正する条例

新たに「永年勤続表彰」を加え、特別功労表彰及び功労表彰の表彰時年令を五十才以上とし、表彰

前死亡したときは年令制限はしないことに改められた。

◇大熊町消防団設置に関する条例の一部を改正する条例 報酬額を次のように改められた。(年額)

団長 二七、〇〇〇円
副団長 一九、〇〇〇円

分団長 一二、〇〇〇円
副分団長 一〇、〇〇〇円

部長 一二、〇〇〇円
班長 七、〇〇〇円

団員 三、〇〇〇円
機械係
自動ポンプ七、〇〇〇円
手引、小型ポンプ

費用弁償額として
訓練出勤の場合
一回につき五〇〇円

◇大熊町外三ヶ町村伝染病隔離病舎組合を組織する町村数の増加及び規約の一部変更について。

大熊町外三ヶ町村を大熊町外四ヶ町村に改正し、野町を新たに組合に加入させるための改正。

◇大熊町教育委員会委員の選任について。

大宇熊川字大平七十一番地太田四朗氏が選任された。

◇大熊町監査委員の選任について。

大宇小入野字南平一の吉岡庄之助氏が再任された。

◇財産取得について。

中屋敷旧分校関係地四一・二五五平方メートルを草地造成及び公共用施設用地として県より取得す

るもの。
◇財産処分について

大宇小入野字北大和久の山林五・一〇〇平方米を一応隨意契約による売却いをするもの。

◇昭和四十四年度大熊町一般会計歳入歳出決算認定について。

歳入合計 二八三・五一
九・四九九円

歳出合計 二七八・〇九
二・九五〇円

の認定を求めるもの。
◇昭和四十四年度大熊国民健康特別会計歳入歳出決算認定について。

歳入合計 五二・三八四
四九八円

歳出合計 五〇・一三三
五六一円

の認定を求めるもの。
◇昭和四十四年度大熊町広域簡易水道事業会計決算認定について

四十四年度水道事業会計

決算について認定を求めるもの。
◇昭和四十四年度大熊町広域簡易水道事業会計欠損金処理計算書について。

純損失額四・一五八・三
一〇円に對する議決を求めるもの。

◇昭和四十五年大熊町一般会計補正予算(第三号)

歳入 三六・四九三・〇
〇〇円

歳出 三六・四九三・〇
〇〇円

九月補正による合計額
歳入 三八五・〇七九・〇〇〇円
歳出 三八五・〇七九・〇〇〇円

の對する議決を求めるもの。
◇昭和四十五年大熊町一般会計補正予算(第四号)

手倉タム建設資金の損失補償を債務負担行為で補正した。

審議会をつくらせて公明正大にやるのが本当である各金融の権限をおかさないう様な内容に於て審議会を発足したい。

◇双葉地方には双葉としての特質があるので相双ではなく、双葉地方広域市町村圏として認可して貰うべく郡内町村長が国県に對し陳情中である。

◇大野病院の改築問題について。

◇県では設計費及び一部着工費として五千八百二十万円を45年度予算として計上し、東京の田中設計事務所に委託して設計中である東北大学の中村教授が応援し、教育病院とする方向で話し合われている模様であるが、町としては病棟、管理棟だけは早く作るように県に陳情中である。

◇一方隔離病舎も同時に改築するとのことで県に設計依頼してありますが県より来年度の予算に設計費を計上してくれとの事でありますのでよろしくお願い致します。 三面へつづく

一般質問のうちから

問 町内老人の医療費無料負担について。

答 県内の状況調査の結果は80才以上が大半であり、国県では、医療費の問題だけでなく社会福祉の向上として総合的に考えている。町として、75才以上か、80

才以上とするか検討中であるが、80才以上とする場合は55万円程度、75才以上の場合一二七万六千円の保険税のアップが必要なので被保険者の負担も考えて検討中である。

問 制度資金審議会の発足について

答 審議会をつくらせて公明正大にやるのが本当である各金融の権限をおかさないう様な内容に於て審議会を発足したい。

◇双葉地方には双葉としての特質があるので相双ではなく、双葉地方広域市町村圏として認可して貰うべく郡内町村長が国県に對し陳情中である。

◇大野病院の改築問題について。
◇県では設計費及び一部着工費として五千八百二十万円を45年度予算として計上し、東京の田中設計事務所に委託して設計中である東北大学の中村教授が応援し、教育病院とする方向で話し合われている模様であるが、町としては病棟、管理棟だけは早く作るように県に陳情中である。
◇一方隔離病舎も同時に改築するとのことで県に設計依頼してありますが県より来年度の予算に設計費を計上してくれとの事でありますのでよろしくお願い致します。 三面へつづく

第一回町民号大野駅を立つ

9月14日



年中行事にして欲しい！
第二回 町民号大好評
身近になつた水戸黄門

九月十四日、第一回町民号が茨城県太田市を訪れた。参加者三十四名。常陸太田市は源義家（八幡太郎）の弟で筆の名手として名高い新羅三郎義光の子孫である。佐竹家累代居城の地で後に水戸に移り関ヶ原の乱に石田三成に組したかどで秋田に移る。

一行は瑞竜中学校体育館で太田市長以下の歓迎レセプションの後町政懇談会を実施昼食を終って西山荘及び水戸家累代の墓所瑞竜山を尋ね午後七時三十分大野駅に帰着したこの地方は、太田梨、及びぶどうの産地として知られている。

以下は、参加者アンケート集計表の一部である。
1 町民号をどのよつと思われましたか。
・非常によかった 51.7%
・よかった 25.8%
・まあよかった 20.8%
・悪かった 1.7%
註、1.7%（5名）のうち3名は2以下に記入しているので全然悪い意味ではないらしい。

2、今後のすめ方について
・年中行事として毎年実施するのがよい。
▽年一回 78.4%
▽年二回 11.5%
▽その都度計画がよい 10.1%
3 行程について。
▽日帰り 49.8%
一泊2日 49.1%
▽二泊3日 11%
4 出発と帰着時刻
ア、出発
・7時頃 49.1%
・7時30分頃 21.8%
その他、六時―六時半

イ、帰着
・午後七時半頃 27.8%
・午後七時頃 26.4%
その他六時―六時半
5 気が付いた点及び希望。
・町民号特別委の様なものをつくって企画した方がよい。
・目的地を詳しく調べて皆の知識を高める様にしたい。
ほしい。
その他出向懇談会の必要がないではないか、又懇談会が一方通行にならないようになどの意見があったが、一般の意見は持ち方そのもの、方法を改善すれば、町の在り方が身近にわかるので良いという事であった。

第一回町民号に参加して
持田虎之助
私も回覧を見て町でもよいことを計画すると思つてすぐ申込みました。
あやふまれた天候もよく持ちなおして暑からず寒からずのよい旅行日和でした。
駅前広場の受付で係から青の徽章を頂いて一安心しました。出発式も型の如くすんで三輛編成の町民号はすべり出した。……
常陸太田駅に着くや吾々一同を花火を上げて迎えてくれた。市の職員もバスの旗を保持して迎えて下さいましたバス六台に分乗、間もなく瑞

熊小、中、西側道路についてはとりあえず熊川橋から坂を上つて熊小までをセメント舗装とし、それからは拡幅して舗装する考えです。通学路の問題はさきへのべたとおりですが国県としても今後は歩道併設の方向です。その様になつて行くと思ひます。

現在道に、大小西側道、大中門前道、大野街路より熊川用水事務所、更に南折して鈴内団地に至る道路、双葉精神病院東側道は簡易舗装を完了し、且下行津川原にプラントを設置する準備中なので出来次第主要町道を舗装する考えでありますので承願いたします。

現在道に、大小西側道、大中門前道、大野街路より熊川用水事務所、更に南折して鈴内団地に至る道路、双葉精神病院東側道は簡易舗装を完了し、且下行津川原にプラントを設置する準備中なので出来次第主要町道を舗装する考えでありますので承願いたします。

五洋建設で目下調査中で海洋調査を終り内容調査に入つた様です。設計、予算については今回の予算に計上してありますので予算内容を見ていただきたい。熊川海水浴場の道路拡張について。
道路、駐車場、脱衣場の整備は勿論、防潮林を固から払い下げて、バンガローを作る考えで居るので協力願ひます。
公害問題について。
公害問題は重大なので東電との間にも協定を結び条例も設置して町民の不安を除きたいと考えている。尚、この場合単独で公害対策審議会をつくるか、広域圏の中で審議会をつくるかについて検討したい。

熊小、中、西側道路についてはとりあえず熊川橋から坂を上つて熊小までをセメント舗装とし、それからは拡幅して舗装する考えです。通学路の問題はさきへのべたとおりですが国県としても今後は歩道併設の方向です。その様になつて行くと思ひます。

熊小、中、西側道路についてはとりあえず熊川橋から坂を上つて熊小までをセメント舗装とし、それからは拡幅して舗装する考えです。通学路の問題はさきへのべたとおりですが国県としても今後は歩道併設の方向です。その様になつて行くと思ひます。

現在道に、大小西側道、大中門前道、大野街路より熊川用水事務所、更に南折して鈴内団地に至る道路、双葉精神病院東側道は簡易舗装を完了し、且下行津川原にプラントを設置する準備中なので出来次第主要町道を舗装する考えでありますので承願いたします。

現在道に、大小西側道、大中門前道、大野街路より熊川用水事務所、更に南折して鈴内団地に至る道路、双葉精神病院東側道は簡易舗装を完了し、且下行津川原にプラントを設置する準備中なので出来次第主要町道を舗装する考えでありますので承願いたします。

五洋建設で目下調査中で海洋調査を終り内容調査に入つた様です。設計、予算については今回の予算に計上してありますので予算内容を見ていただきたい。熊川海水浴場の道路拡張について。
道路、駐車場、脱衣場の整備は勿論、防潮林を固から払い下げて、バンガローを作る考えで居るので協力願ひます。
公害問題について。
公害問題は重大なので東電との間にも協定を結び条例も設置して町民の不安を除きたいと考えている。尚、この場合単独で公害対策審議会をつくるか、広域圏の中で審議会をつくるかについて検討したい。

熊小、中、西側道路についてはとりあえず熊川橋から坂を上つて熊小までをセメント舗装とし、それからは拡幅して舗装する考えです。通学路の問題はさきへのべたとおりですが国県としても今後は歩道併設の方向です。その様になつて行くと思ひます。

議会傍聴

婦人学級

九月二十九日

研究課題、「町政と生活」
午前中九月定例町議会の傍聴
午後話しあい。

議会傍聴の所見

◎各議員さんは、町の発展のために一生懸命努力なさっている姿が見られました。

◎部落推せん議員さんや、団体の後押で出た議員さんは、よく部落の方々など話を合せて、皆さんの意見を反映させてほしい。

◎役場に夫婦で努めている方が自主的にやめるなり職

場を変へるのが望ましい。
◎議会の前後には、よく部落の方々話し合せて、要求なり結果報告をして貰いたい。

◎「彼らは」という言葉は人間尊重の上から「働いてる方々」とでもいう様に言葉づかいに気をつけてほしい

◎部落の政治は矢張り自分の部落から一人議員さんを出して置かなければおくれゆく。

只今「貯蓄の日」強調特別運動を実施中です

- ◎10月17日は「貯蓄の日」
- ◎貯蓄であかるい明日を
- ◎貯蓄で築こう豊かな社会
- ◎しあわせなあなたの未来は貯蓄から

福島県貯蓄推進委員会

道路

旧道の面目を一新した

大熊地区農免道

正式には、農村漁業用揮発油税財源身替農道整備事業のうち今年度分が二千三百七十九万円。

夫沢海岸にある牧草地から熊中前で県道と交差する。全長三・五〇〇米。昭和四十三年度に着工して今年で三年目になる。すでに夫沢海岸より小入野部落南側まで二・九六〇mを完了し、今十月末頃から残り五四〇mの工事に着手

する。総事業費六千五百〇〇万のうちの今年度分が二千三百七十九万円。国、県費が九割、町費が一割。元来が、農産物、畜産物及び果樹類の運搬を目的として着工されたが、本道の完成は夫沢海岸から南原を経て、野馬形一帯に対する世紀的開発の動脈として大きな意義をもつて来るものと思われる。

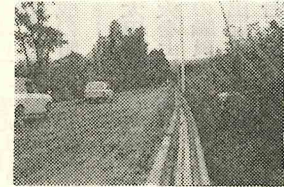
熊野地区を完了した三角屋舗装中



道免南地区農免道



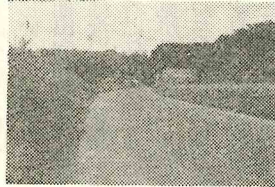
大川原街道 双農高に向う拡幅工事



双葉精神病院 東側の簡易舗装道



野上街道上秋元商店 附近



簡易舗装が完了した 大小西側道



故西村正助役の死を悼む

十月七日町葬挙行

故西村正氏は、菊薫る十月五日、五十九年に亘るその生涯を静かに閉じた。それは悟道に達した者の安らかな死であった。

越えて十月七日。町葬の礼を以て盛大な葬儀が挙行され涙に杜絶いがちな志賀町長の弔いの言葉がなみいる会葬者の袖をぬらした。

西村氏は明治四十四年三月十五日、大字夫沢字寺附谷地十三番地に生れ、長じて昭和七年八月台湾に渡り、学校職員、総督府巡查等を拝命。昭和十二年帰郷の上、夫沢第一区長、農地委員、体協会長

食糧調整委員等を経て、昭和二十六年熊町村議会議員となり爾来大熊町誕生と共に大熊町議会議員となり昭和四十三年六月に至った。

この間、熊町養蚕協同組合長、土地改良区監事、大熊町議会議長、農業委員長、農業業会議々員、消防団副団長、双農高校PTA会長、県立高校PTA連合会副会長、熊町村農業協同組合長、大熊町体協会長、双葉地方町議会議会長などを経て、大熊町助役に就任して現在に至った。

かつて明治維新の志士、久坂玄瑞が蛤御門乱戦の最中に重創を受け、「有事無事の如く、無事有事の如し」と、ニコリ笑って自尽したというが、死の直前まで町政を思い町政の進展につくした故西村助役の一生は、地方進展と共に長く大いなる足跡を残すものと思われる。

大野駅前通り舗装拡幅道。それは現在では舗装された自動車置場の姿を呈している。



駅前より焼山東電団地 に向う舗装作業



社会教育 青少年

大熊町 青少年社会奉仕クラブ 優良団体として 顕彰決定



スポーツ少年団

大熊町青年学級のクラブ活動として、大野駅周辺の美化活動。熊川海水浴場及びキャンプ場の開発整備等に活発な奉仕活動を続けて来た「大熊町社会奉仕クラブ」は、社会奉仕活動の優良団体として十一月一日、郡山市で開催される昭和45年度青少年のつどい福島県大会の席上、福島県青少年団体連絡協議会、福島県青少年育成県民会議及び福島県より顕彰されることに決定した。

ミドルスポーツ少年団 県大会において 顕彰決定

大熊町スポーツ少年団は十八単位団、六六五名を以て編成されているが、ミドルスポーツ少年団(団員35名、団長佐藤朝君)は運動、スポーツ活動優良な青少年団体として来る十一月一日郡山市で開催される「昭和45年度、青少年のつどい福島県大会」において

福島県青少年団体連絡協議会、福島県青少年育成県民会議、福島県の名をもつて顕彰されることに決定した。

大熊町青年社会奉仕クラブ = 駅構内美化作業 =



青年会のソフトボール大会 9・15



青年会のソフトボール大会開く

大熊町青年会は会員相互の親睦と融和を図ると共に健全なスポーツを楽しむと、去る九月十五日大野中学校グラウンドに於てソフトボール大会を開催した。これには町内七チーム八十余名の青年男女が参加し手に汗を握る大熱戦を展開した。成績は次のとおり

- 優勝 野上チーム
- 準優勝 下野上チーム
- 第三位 夫沢チーム
- 熊川チーム

青少年スポーツ振興指定町

巡回スポーツ指導

10月2日

県内で青少年スポーツ振興市町村として指定をうけているのは、河東村、いわき市、鹿島町、大熊町の四ヶ所。10月2日、福島大学助教授

青田峰雄、県教育庁保健体育課指導主事、木田義広。相双教育事務所指導主事、坂本和夫。郡山市教委保健体育課長補佐、花井馨の各先生が来町して巡回指導が行なわれた。参加者 二八名
午前九時三〇分より午後二時までは公民館で、組織、計画運営、スポーツテスト、施設利用等についての研究協議午後二時—午後四時まで大中央体育館で、家庭バレーボール秋田音頭踊りの指導。

公害問題の次は体力問題
青田教授の講話から。◇世界的な問題として、公害問題の次は体力問題
①移動人間
行動半径が広いこと。
②創造人間
時代に即したアイデアを持つこと。
③ゆづき人間
正しい遊びを知ること。とされてあり、レジャーの四条件として。

④余暇活動であること。
⑤自発的な自主活動であること。
⑥社会性が発揮されること。
⑦楽しいものであること。

本研修指導の成果は今後町体育振興の上に成果となって現われるものと思われる

町長杯争奪町民野球大会野上Aチーム優勝

10月16日、国民体育の日に

なわれた町長杯争奪町民野球大会には12チームが出場した

学級便り

◇10月27日

婦人学級現地学習
課題「自然と人生」
栃木、塩原方面に出張し、観光農業の実態を研究し、小説「不如帰」の主人公浪子の墓に詣でたあと、溪谷の自然に親しむ。

◇11月5日

双葉郡青年野外研修、於楢葉町木戸 郡内青年学級及び青年団体のリーダーが一堂に会し、体育レク、野外活動を研究実習し、活動についての情報交換を行う。

◇11月29日

町球技大会(家庭バレーボール、卓球大会)

男子の部
三十才以上、8人制、ネットの高サ2米50釐。

女子の部
知事杯争奪戦、社会人年令自由、8人制、ネットの高サ2米30釐。

卓球は四人編成、男、女。